

# 労働問題大演説會主催

日時 十一月二十一日午前十時 會場 府下赤羽町 演藝座

日本労働總同盟  
友愛會赤羽支部

入場料 金拾錢

## 辯士

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 支部長             | 秋山清   |
| 東京鐵工組合          | 泉忠    |
| 東京電機及機械鐵工組合     | 小暮歌五郎 |
| 日暮里支部           | 相樂達雄  |
| 東京鐵工組合          | 山本懸藏  |
| 東京聯合會           | 上條愛一  |
| 東京電機及機械鐵工組合     | 高田和逸  |
| 全日本鐵夫總聯合會理事 法學士 | 麻生久   |
| 日本労働總聯合會        | 鈴木文治  |
| 同盟友愛會會長         | 外名數   |

労働歌 アムルー河のよし  
一 食糧飽くなき資本家の  
雇の手は長く労働の  
成果を奪い食りて  
根幹堅し資本主義

二 天地ゆるさぬ暴虐に  
虐げられし労働者  
血汐流れて河となり  
恨みは永一幾世紀

三 起て労働者奮い起て  
資本の此じ陥いれ  
我手におが生産を  
奪還すべ 秋は今

四 起て労働者奮い起て  
永き此世の不合理を  
一擧に居り打建てよ  
労働自治の新社会

## 親愛なる兄弟諸君

我等は今諸君に「労働者と團結せよ」とこの我等の玉條を宣傳するの光榮を有する。

諸君!! 我等の兄弟は、或は地下數千尺の鑛山に鑛石を採掘し又は、數百尺の熱下に鋼鐵を溶解し機械を造り、或は鐵骨を以て大建築を成し又は田園に食糧品の耕作に努力を續けて居る斯くして社會人類は生存し得るのである。然るに斯如く働き生産をなす我等労働者の地位はどうであらう。狂亂時代は、長時間の労働を強いられて、爲めに思はぬ負傷者や病人を増したのみ一瞬不況氣風の吹くや或給に賦首に増々不安は甚敷くなる然も此不安より我等を救ふ法律も無い時志士も居ない勿論我々は慈善や恩恵を受け人のお情に安んず可きではない。

此處に我等は自主的運動をなす必要がある即ち團結し以て地位の向上を計り生活の安定を得る事である。我等労働者の救はるゝ道は我々の團結あるのみである、「労働と團結せよ」今や各地の労働者は絶叫する、諸君は神戸の大罷業を知られ様、近くは横濱船渠の争議を知られ様、我等も又戦ひを経て来た者である。團結の力が如何に我等の幸福を齎らすかは、云ふ迄も無き事である。

諸君よ、願はくは直に労働組合を組織し修養の爲めに、地位向上の爲めに、労働階級解放の爲めに我等と共に進まれん事を  
◆萬國の労働者團結せよ◆

## 鶴見職工組合

鶴見潮田三〇〇 平野方